

石川県滝港マリーナの平成22年度管理状況

施設所管課	土木部港湾課
指定管理者	財団法人 羽咋市体育振興事業団 代表者 辻 角 邦 昭
指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 〔不十分な場合、その理由、指摘事項を記入 新規業務に関しては、新規であることが分かるよう記入〕
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>施設の使用受付、案内等の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従事員全員に対し、気象、海象状況の把握を徹底 ・ 利用者心得等配布 ・ 出港問い合わせへの気象・海象状況案内 <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者アンケートの実施(延23通) ・ ホームページで対応(H22年度は苦情や問い合わせは0件) ・ 利用者ニーズの反映(利用料支払方法の便宜など) <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者への船台の貸出
利用の促進に関する業務	<p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヨット大会(天候不順のため中止・未実施もあり) <p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページを運営 <p>周辺地域、関係機関との連携・協力の推進</p> <p>沿岸、海難事故等に関する救助活動等レスキュー艇での連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元ボランティア救難所員(羽咋滝港マリーナ救難所) ・ 石川県漁業協同組合羽咋支部、柴垣支部 ・ 金沢海上保安部 警備救難課 ・ 羽咋郡市消防本部 ・ 羽咋警察署
使用の許可に関する業務	<p>使用許可、使用料の徴収、納入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用許可の件数((2)②参照) ・ 使用料の収入実績((3)参照)
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	<p>清掃</p> <p>艇置場・公衆トイレ等委託</p> <p>保守点検</p> <p>クレーン・フォークリフト・ベルトスリンギー等の点検整備</p> <p>係船・着岸時の指示</p> <p>修繕</p> <p>マリンリフトや管理棟などを修繕</p> <p>警備</p> <p>管理棟・艇庫の警備を業者に委託</p>
(その他知事が必要と認める業務)	<p>緊急時の対応・安全管理などの危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 危機管理マニュアルの策定、職員への教育

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急連絡系統図の作成と徹底 ・ 救難所との連携 個人情報の管理状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報の外部漏えい防止策の徹底
--	---

(2) 施設の利用状況

①利用指標（（設定している場合）利用人数、稼働率などの数値目標）

指標	H21年度 (参考)	H22年度	前年度比	増減理由
施設利用者数(人)	11,507	10,404	90%	6月と8月に荒天日が多かったことによる減。
施設稼働率(%)	98%	98%		

※ 施設稼働率は、艇置場の数に対する使用数。

②使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
ボート艇置場	125	0	
ヨット艇置場	15	0	
艇庫	3	0	
栈橋	5	0	
会議室	40	0	
マリンリフト	748	0	
計	936	0	

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

(円)

	収入額	減免額	減免理由
ボート艇置場	11,577,050		
ヨット艇置場(大会等)	379,580	39,380	教育的観点により
艇庫	135,150	405,450	〃
栈橋	24,080		
会議室	74,980	18,900	教育的観点により
給水・シャワー	118,200	40,600	〃
マリンリフト	2,182,300	18,900	〃
その他(電気・水道)	75,895		
計	14,567,235	523,230	

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
利用料収入	14,567	人件費	6,652
		光熱水費	1,454
		修繕費	630
		その他	3,720
		県納付金	2,100
合計	14,567	合計	14,556
収支差額	11		

(5) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

①利用者の意見等

(ア) 利用者アンケート結果（平成 22 年 5 月、6 月実施 有効回答数 23 件）

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	93%	7%	0%	0%
施設の維持管理	87%	13%	0%	0%

(イ) 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
平成 22 年 5 月	給水施設を増やしてほしい。	県と協議中。
平成 22 年 6 月	利用者との意見交換の機会検討を。	利用者協議会等の設置を検討中。

②事故、故障等

年月	内容	対応
平成 年 月	該当なし	
平成 年 月		

③その他報告事項など

--

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取り組みが行われているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員全員に対し、気象、海象状況の把握を徹底し、利用者の出港の問い合わせ等に対応している。 ・利用者の意見箱の設置を行い、ニーズの反映に役立てている。 ・ヨット教室の開催およびヨット大会を企画した。 ・イベントをはじめ施設の情報を広くホームページで提供している。 ・利用者の多い時期に営業時間の延長を実施した。
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・艇置場、公衆トイレ等の清掃委託や、管理棟、艇庫の警備委託、クレーン・フォークリフト・ベルトスリンギー等の点検整備により、適切な維持管理が行われている。 ・マリンリフトや管理棟等を随時修繕し、適切な状態に保たれている。

③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルに基づき、職員への教育を徹底した。 ・救難所との連携維持に努めた。 ・安全管理者など、必要な職員の配置がなされており、管理体制も適切である。 ・業務に関する研修・講習が十分なされている。
④その他、必要と認める事項（例：苦情処理、個人情報保護）	B	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の外部への漏洩防止策を徹底した。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置目的にあった管理運営がなされている。

○評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を上回っている
- B（良）：仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C（可）：仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っている

○総合評価

- A（優）：適正であり、優れた実績をあげている
- B（良）：適正である
- C（可）：概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D（不可）：改善が必要である

※評価にあたっては、利用者アンケートの結果を考慮するものではないので注意すること

（7）助言・指摘事項